

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成25年5月31日現在

機関番号：32642

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2010～2012

課題番号：22510294

研究課題名（和文） 戦後沖縄における女性の労働に関する一考察－労働力移動の視点から

 研究課題名（英文） A consideration of women's labor in the postwar Okinawa :
From a perspective of labor mobility

研究代表者 水谷 明子

(MIZUTANI AKIKO)

津田塾大学・国際関係研究所・研究員

研究者番号：60360129

研究成果の概要（和文）：本研究では、1945年から「復帰」前の1960年代までの戦後沖縄における女性の労働について、移動の視点から考察することを目的とした。まず、沖縄近現代史における政治・経済研究、女性史研究、また国際労働力移動、ジェンダー研究における先行研究を再検討し、経済構造の変化と女性労働・労働力移動の関係に焦点を当てて、研究史を整理し、ワーキングペーパーを執筆した。次に、移動を伴う女性労働の規模・内容について、より動的な実態を明らかにするために、公文書・統計・新聞など各種文献資料、個人史・証言などを収集し整理した。最後に、資料より、女性の労働・移動に関する項目を抽出し、戦後沖縄における女性労働の特徴について、分析・考察を進めた。

研究成果の概要（英文）：The aim of this project is to consider the women's labor in Okinawa's postwar period, from 1945 to 1960s, just before the time of reversion, through a perspective of labor mobility. First, a review of the previous studies, on the political economy of modern Okinawan history, women's or gender studies, and international labor mobility studies, was made to write a working-paper. Then, to make clear the dynamic picture of women's labor content and size, collecting and compiling of materials, such as archive documents, statics, articles, newspaper, personal documents and interviews, were done. Last, with some points on women's labor mobility extracted, further analysis and consideration about the feature of women's labor in postwar Okinawa, are to be advanced.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	700,000	210,000	910,000
2011年度	500,000	150,000	650,000
2012年度	400,000	120,000	520,000
年度			
年度			
総計	1,600,000	480,000	2,080,000

研究分野：複合新領域

科研費の分科・細目：ジェンダー

キーワード：経済・労働、近代史、女性史、国際関係、東アジア

1. 研究開始当初の背景

(1) 沖縄は近代以後、有数の「移民県」である。戦前の移動に関して研究成果が多い一方、沖縄戦後の移動についての研究は十分とはいえない。特に沖縄戦後、米軍占領下の「復興」の下、労働を支えた女性達は、生活のため、また学業や専門技術習得のために「生まれ島（故郷）」を離れ、近隣の琉球諸島の島々との間で、またヤマト（本土）や海外へと海を渡っている。その規模・内容について、公文書・統計・新聞など各種文献資料と個人史・証言の内容を参照することが必要である。

(2) 沖縄の「移民」については、従来、移民史、政治経済史などの視点から研究が進められてきた。近年のグローバル化における国際移動・労働力移動の研究展開を踏まえ、特に女性史・ジェンダー史の視点より、先行研究を整理する必要がある。

2. 研究の目的

(1) 沖縄の女性の広範囲に頻発する移動について分析する枠組みを検討する。沖縄戦後史における政治・経済研究、女性史研究について再検討し、戦後沖縄における経済構造の変化、女性労働・労働力移動に焦点を当てて、研究史の整理を行う。

(2) 戦後から「復帰」までの沖縄女性の移動について、公文書・統計・新聞など各種文献資料と個人史・証言の内容を参照し、その規模と内容を明らかにする。

3. 研究の方法

(1) 沖縄戦後史における政治・経済研究、女性史研究について再検討し、戦後沖縄における経済構造の変化、女性労働・労働力移動に焦点を当てて、研究史の整理を行う。また国際移動・労働力移動の研究展開から学び、特に女性史・ジェンダー史の視点から、戦後沖縄の女性達の移動について、その要因・頻発性・出身地との関係・労働状況などの考察・分析に取り入れる。

(2) 戦後沖縄の新聞資料、沖縄県公文書館において収集が進められてきた米軍政および米国民政府資料、琉球政府の資料・統計、沖縄本島・離島の各市町村史などで記録されてきた証言・個人史などから、女性の労働・移動に関する項目を抽出し、整理する。

(3) 文字化されにくい女性の体験・感想・生活認識を記録するために、女性と移動の関係について、各地で聞き取り調査を行う。

4. 研究成果

(1) 沖縄県公文書館において収集が進められてきた米軍政および米国民政府資料、琉球政府の資料・統計、沖縄本島・離島の各市町村史などで記録されてきた証言・個人史などから、女性の労働・移動に関する文献資料を収集し、整理した。

(2) 戦後初期の新聞資料のうち、近年復刻版の刊行された以下の新聞について、沖縄の女性史・女性労働・労働力移動に関する記事を抽出し、整理した。

『うるま新報』

『琉球新報』

『沖縄新民報・自由沖縄』

また、戦前における八重山諸島・台湾間の女性達の労働移動の特殊性から、以下の新聞・雑誌の資料を収集し、戦後初期におけるこの地域の女性達を取り巻く状況について、女性史・女性労働・労働力移動の視点より、記事を抽出し、整理した。

『先島朝日新聞』

『先島新報』

『八重山新報』

『八重山民報』

『先島評論』

『南琉日日新聞』

『八重山時事新報』

『八重山朝日新聞』

『八重山時報』

『人民導報』(台湾)

『全閩新日報』(台湾)

『全閩新生報』(台湾)

『与那国新聞』

『週刊婦人新聞』

『自由民報』

『青い鳥』

『若い人』

『新世代』

『南の星』

『八重山文化』など。

(3) (1)、(2)を通して、公文書・統計・報道・回想など、資料群ごとの特性に留意しつつ、参照・考察し、戦後沖縄における女性の労働・労働力移動の実態につ

いて、特徴を考察した。特に、沖縄戦後史における政治・経済研究、女性史研究について再検討し、戦後沖縄における経済構造の変化、女性労働・労働力移動に焦点を当てて、研究史整理を行い、ワーキングペーパーにまとめた。

(4) 文献資料を補足し、さらに文字化されにくい女性の体験・感想・生活認識を記録するために、八重山諸島(石垣島・与那国島)において聞き取り調査を行った。当時の各々の状況や個人の体験について、労働・移動の実態だけでなく、生活状態、経済状態の認識と対応、労働や生活における相互協力や共同性、制度の変化と宗教・風俗の関係、戦前の移民・出稼ぎ、戦争の体験、他の地域との関係など、広く設問し、戦後沖縄の女性の労働を取り巻く環境、移動を生じさせる要因、生活認識、価値観などについても考察した。体験者の高齢化、資料の損傷・散逸などにより、調査が困難な場合は、家族・研究者からの聞き取り、また日記・写真など個人資料の収集を行い、整理した。

(5) (1)～(4)の作業を通して、戦後沖縄における女性を取り巻く政治・経済研究、女性史研究の再検討を行った。戦前・戦後を通して、沖縄における経済構造の変化、女性労働・労働力移動の広範性・連続性の特徴と要因について、特に八重山諸島の実態に焦点を当て、論文を執筆中である。

(6) 聞き取りおよび文献資料調査の整理により得られた資料をデータベース化し保存しているが、個人情報に関わるため、どのように公開・活字化するか、問い合わせ・検討中である。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 1 件)

・ 水谷明子「近代沖縄と女性たちの移動－沖縄・八重山の女性たちの移動に関する一考察－」 IICS Monograph Series、no.16、2010 年。

[その他]

翻訳

ブリジ・タンカ「多様なアジアの想起－インドのアジア観の模索－」松浦正孝編著『アジア主義は何を語るのか－記憶・権力・価値－』ミネルヴァ書房、2013 年、第三章。

6. 研究組織

(1) 研究代表者

水谷 明子 (MIZUTANI AKIKO)

研究者番号 : 60360129